

## 日中学生交流団体 freebird 団体概要

2016 年 7 月現在

1. 名称：日中学生交流団体 freebird
2. 設立年月：2005 年 2 月
3. 顧問：阿古 智子（東京大学大学院総合文化研究科准教授・博士（Ph.D.））
4. 事業対象分野：国際交流
5. 主な活動地域：東京・京都・北京・上海

### 6. 主な事業：

CHINATRIP／JAPANTRIP

毎年夏に CHINATRIP／

JAPANTRIP という約 1 週間にわたる合宿型のイベントを隔年で実施しています。寝食を共にしながら活動することで、より意味のある日中学生の相互理解の促進を目指します。

また、支部ごとに交流イベントを企画・実施しています。



（2015 年 8 月の JAPANTRIP2015 より）

### 7. 組織構成：

freebird は 4 支部の学生によって構成されています。

【関東支部】 代表：上條 勝也

関東支部は東京都内を中心とした様々な大学から学生が集まり、現在は 20 名で活動しています。他支部同様月 1 回のペースで交流イベントを企画・実施しています。イベントには学生のみならず日中交流に興味がある社会人にも参加して頂き、そこから人と人との繋がりが生まれ、「縁」というものを強く感じています。

【関西支部】 代表：山口 仁崇

関西支部は現在近畿地方の 5 大学約 30 名が所属し京都にて活動を行っています。月に 1 度程度のイベント開催では、毎回学生のみならず地域の方々にも参加頂き、地域密着型学生団体として京都で独自の立場を示しています。学生の街であり、日本が世界に誇る国際観光都市で日中交流の可能性がどのようにあるのか検討しながら精力的に日々活動しています。

## 【本事業の概要】

本事業では、10 日間日中学生が共同生活を送りながら五輪を中心とした様々な問題や疑問などに触れて討論し、体験することで相互理解の場を提供する。10 日間という期間にわたり寝食を共にすることで、1 回のイベントでは到達できないより内容の濃い事業を目指す。

現地到着後は、4 支部間の参加者・スタッフの親交を深めるために北京市内でのフィールドワークを行う。中国の歴史を肌で感じられる首都北京を実際に歩くことで、その一端を感じ取ってもらう。討論会は 2 回行う予定であり、討論会を通じて国民性の違いを感じられるようにする。企業訪問は、北京に進出している日系企業を訪問することで中国における日系企業の意味について考える。討論会などで得たことを SUMMERBIRD2016 で外部に発信することでさらなる自身の理解促進を図る。以上の内容により、「日中の相互理解を促進する」という団体理念に基づいて活動する。

## 【本事業の日程】

8 月 14 日	各支部移動、順次北京へ集合
15 日	フィールドワーク・街頭インタビュー
16 日	選手訪問
17 日	第 1 回討論会
18 日	企業見学
19 日	第 2 回討論会
20 日	成果発表会 (SUMMERBIRD2016) 準備
21 日	成果発表会 (SUMMERBIRD2016) ※
22 日	北京散策
23 日	各支部移動、順次帰途へ

### ※成果発表会

「SUMMERBIRD」と名付け、合宿の期間内で学んだこと等を CHINATRIP2016 参加者から、来場者の方々に発表することでさらなる自身の理解促進を図る。また、参加者と来場者の自由な交流会を行うなど双方向での交流が可能な発表会とする。SUMMERBIRD は一般のイベントとして数か月前から広報・宣伝し、100 名程度の来場者を見込む。会場は北京市内の日本大使館を利用予定である。